



教育目標 「すすんで学習をしよう」「あったかい心をもとう」「じょうぶな体をつくろう」

HP アドレス <https://hachioji-school.ed.jp/yugce/> 校長 松山 大作

時を超えて届いたメッセージ ～ピラミッドの秘密と「主体性」の力～

校長 松山 大作

ピラミッドと聞くと、多くの人が神秘的でエキゾチックな印象を抱くことでしょう。メディアに映し出されるその姿は常に壮大で、果てしない時の流れを感じさせる人類の偉大な遺産です。ではなぜピラミッドは何千年もの時を経た今も、崩れることなく存在し続けているのでしょうか。その最大の秘密は、最も巨大なクフ王のピラミッドに隠されているようです。

クフ王のピラミッドは、建造に20年もの歳月を要し、230万個もの石が使われました。一説には20万人もの人々が工事に携わったとも言われており、その労力や費用は想像を絶するものだったに違いありません。灼熱の太陽の下、重い石を運ぶ人々の列が延々と続き、ファラオ（王）の権力に虐げられていた……そんな痛ましい姿を思い浮かべる方も多いのではないのでしょうか。

しかし近年の考古学では、これまでのイメージを覆す驚くべき事実が明らかになっています。発掘された採石場や住居跡からは、ファラオへの讃歌や自分たちの作業チームの名前が記された落書きや充実した食事の痕跡が発見されました。彼らにとってピラミッド建造に携わることは、過酷な義務ではなく、むしろ「王の栄光を後世に残したい」という大きな誇りや、主体的な意志を持った営みだったと考えられるようになったのです。何千年もの時を超えて今なお美しい原型を留める圧倒的な完成度は、強制からは決して生まれない、人々の「主体性の力」の結晶だったのかもしれない。

時を超えて現代に届いたこの歴史のロマンは、私たち教師にとっても大切なことを教えてくれています。何千年も崩れない強さの秘密が「強制」ではなく「主体性」にあったという事実は、これからの時代を生きる子どもたちの教育への、輝かしい道標（みちしるべ）となるものです。

教育の本質は、子どもたちが自ら考え、判断し、行動する「主体性」を育むことに他なりません。与えられた知識を覚えるだけでなく、自らすすんで学び、困難にも挑戦し続ける力。それこそが、やがて社会へ羽ばたき、自分らしく未来を切り拓く最高の財産となります。だからこそ私たち教師は、日々の授業や活動に工夫を凝らし、子どもたちが「失敗しても大丈夫」と思える温かい安心感を学校の中に創り出していきたいと考えています。子どもたちの無限の可能性をどこまでも信じ、主体的に歩んでいけるよう支えていくこと。それこそが、私たちの果たすべき重要な使命です。その先にこそ、子どもたちが輝く未来が待っていると信じています。

日増しに秋が深まり、子どもたちが学ぶ楽しさをじっくりと実感する実りの季節を迎えました。爽やかな秋空のもと、自らの意志で瞳を輝かせ、仲間と豊かに関わり合いながら挑戦する経験こそが、未来を切り拓く主体性を育てます。

今月も、子どもたち一人ひとりが自分らしく輝けるよう、教職員一同、温かく寄り添い全力で支えてまいります。保護者や地域の皆様におかれましても、子どもたちの成長を共に見守っていただき、温かいご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



表彰

本校、合唱団が「第93回 NHK全国学校音楽コンクール 東京都コンクール」フリー部門に参加し奨励賞をいただきました。